



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 アルビス株式会社
 コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大森 実
 (氏名) 吉川 透
 TEL 0766-56-7200
 配当支払開始予定日 平成29年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,648	7.0	1,315	0.3	1,573	1.5	1,147	5.4
29年3月期第2四半期	38,005	2.6	1,319	18.8	1,550	21.8	1,088	49.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,184百万円 (11.8%) 29年3月期第2四半期 1,059百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	154.90	
29年3月期第2四半期	139.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	37,308	20,277	54.4	2,737.30
29年3月期	36,232	19,278	53.2	2,602.43

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 20,277百万円 29年3月期 19,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		25.00	60.00
30年3月期		35.00			
30年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期第2四半期末配当金35円には当社50期記念配当10円が含まれております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,307	8.2	2,939	14.8	3,300	5.1	2,178	11.3	294.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,905,926 株	29年3月期	7,905,926 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	498,146 株	29年3月期	498,019 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	7,407,849 株	29年3月期2Q	7,790,269 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当第2四半期決算短信開示後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績が好調に推移し、雇用及び所得環境の改善が進み、個人消費も底堅さが増すなど、穏やかな回復基調が続いております。しかし、個人レベルでは、景気回復の実感が乏しく、消費回復の先行きが不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、実質賃金が伸び悩む中、将来への不安感と現役世代に対する社会保障費の負担が増加し、消費者の節約志向は長期化しております。また、採用難による人手不足で人件費が増大するなど、経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中、当社グループは、お客様の来店動機と消費意欲を高めるための魅力ある店舗作りへ積極的に投資し、また従業員の労働環境を改善し、長く安心して活躍できる人事制度の改定へ取組みを行っております。

新店につきましては、平成29年4月、富山県高岡市に55店舗目となる「美幸町店」をオープンしました。海産売場の活気ある対面販売でバラ売りコーナーを拡充したほか、昼食や仕事・学校帰りのお客様のニーズを反映し、出来立てのお弁当や簡便食材を充実させたことなどにより、お客様よりご好評を得ております。

既存店の強化策につきましては、平成29年6月に「小松城南店」「高柳店」、平成29年7月に「大友店」「大久保店」を改装し、新店の機能を反映させました。また、生鮮や惣菜の品揃えを強化したほか、簡便、健康などお客様のニーズに合った商品を充実させました。

労働環境の改善への取組みとして、新たな福利厚生サービスの導入や労働時間管理を改善するシステム改修など人事制度関連へ投資するとともに、定年延長や子育て・介護・通院等で働く時間が限定される社員の働き方など、人事制度の見直しを行っております。

お客様の利便性向上への取組みとして、従来の会員カードを刷新し、平成29年10月30日の切替えに向けて新会員カード「アルビスPonta カード」の導入準備を行っております。新会員カードは、共通ポイント「Ponta(ポインタ)」とスーパーマーケット共通電子マネー「CoGCa(コジカ)」を同時に利用できる初めてのカードで、クレジット機能を搭載した「アルビスPonta カードプラス」と2種類で展開します。お客様にとって、小銭の出し入れ無く迅速に清算ができ、会員限定の様々なポイントアッププログラムを受けられるほか、地域の提携店舗、全国やインターネット上のPonta提携店舗、国内外のマスターカード加盟店舗を利用した際にもポイントが付与されるため、大変お得で便利なカードとなります。

将来の出店拡大を支える成長基盤構築への取組みとして、店舗の生産性向上に寄与するバックシステムとなる新センター(惣菜工場、生鮮加工工場)を建設する準備を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、天候不良やアニサキス問題等で主力の生鮮食品の販売が鈍化し、売上予算は未達となりましたが、前期に出店した高原町店や明倫通り店及び当期にオープンした美幸町店の影響により営業収益40,648百万円(前年同期比7.0%増)となりました。また、店舗投資に伴う一時経費負担の増加、福利厚生を含む人事制度関連の戦略的な支出、新会員カード関連支出等により、営業利益1,315百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益1,573百万円(前年同期比1.5%増)となりました。さらに、新幹線用地買収に係る収用補償金を受領したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益1,147百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

また、平成29年10月4日、福井県福井市大願寺に福井地区4店舗目となる「大願寺店」をオープンし、同時に「アルビスPonta カード」の取扱いを先行開始しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,076百万円増加し、37,308百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の増加額502百万円、流動資産その他の増加額124百万円、建物及び構築物(純額)の増加額214百万円、土地の減少額47百万円、有形固定資産その他(純額)の増加額225百万円、敷金及び保証金の減少額190百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、17,031百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額450百万円、短期借入金の減少額100百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額150百万円、賞与引当金の減少額103百万円、流動負債その他の減少額139百万円、長期借入金の減少額199百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ998百万円増加し、20,277百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額962百万円、その他有価証券評価差額金の増加額37百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ484百万円増加し、4,409百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ297百万円増加し、1,967百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前四半期純利益が1,693百万円、減価償却費748百万円、収用補償金177百万円、支払債務の増加額350百万円、未払消費税等の増加額50百万円等による資金の増加と、賞与引当金の減少額103百万円、売上債権の増加額75百万円、たな卸資産の増加額62百万円、法人税等の支払額406百万円等による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ508百万円減少し、1,013百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、有形固定資産の売却による収入47百万円、敷金及び保証金の回収による収入447百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出1,091百万円、敷金及び保証金の差入による支出270百万円等による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ580百万円減少し、452百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、長期借入れによる収入1,000百万円等による資金の増加と長期借入金の返済による支出1,049百万円、配当金による支出額184百万円、リース債務の返済による支出117百万円等による資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績につきましては、平成29年4月28日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,907,005	4,409,085
売掛金	470,681	546,592
商品	1,681,687	1,729,160
原材料及び貯蔵品	67,404	82,030
その他	1,108,836	1,233,086
貸倒引当金	△1,040	△1,421
流動資産合計	7,234,574	7,998,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,228,089	10,442,407
土地	11,008,212	10,960,773
その他(純額)	1,989,467	2,214,608
有形固定資産合計	23,225,769	23,617,789
無形固定資産		
のれん	65,125	48,136
その他	553,575	627,443
無形固定資産合計	618,701	675,579
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,873,297	3,682,793
その他	1,474,725	1,509,164
貸倒引当金	△194,503	△175,235
投資その他の資産合計	5,153,518	5,016,722
固定資産合計	28,997,989	29,310,092
資産合計	36,232,564	37,308,627
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,292,878	4,742,924
短期借入金	400,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,033,061	2,183,358
未払法人税等	501,980	521,568
賞与引当金	536,391	432,482
その他	2,540,207	2,401,201
流動負債合計	10,304,519	10,581,534
固定負債		
長期借入金	4,376,543	4,176,953
受入敷金保証金	916,371	884,250
資産除去債務	567,469	571,872
その他	789,104	816,718
固定負債合計	6,649,489	6,449,794
負債合計	16,954,008	17,031,329

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,896,091	2,896,091
資本剰余金	3,620,993	3,620,993
利益剰余金	14,229,304	15,191,580
自己株式	△1,471,626	△1,472,248
株主資本合計	19,274,762	20,236,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,793	40,881
その他の包括利益累計額合計	3,793	40,881
純資産合計	19,278,556	20,277,298
負債純資産合計	36,232,564	37,308,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	37,436,059	40,083,873
売上原価	26,387,150	28,153,882
売上総利益	11,048,909	11,929,990
不動産賃貸収入	569,118	564,215
営業総利益	11,618,027	12,494,205
販売費及び一般管理費	10,298,669	11,179,190
営業利益	1,319,357	1,315,015
営業外収益		
受取利息	12,059	10,593
受取配当金	13,372	13,943
受取手数料	21,262	21,436
受取販売奨励金	56,191	59,508
その他	174,846	200,544
営業外収益合計	277,733	306,026
営業外費用		
支払利息	42,635	36,335
その他	4,043	11,314
営業外費用合計	46,679	47,649
経常利益	1,550,411	1,573,391
特別利益		
固定資産売却益	25,640	23,181
投資有価証券売却益	30,305	—
収用補償金	—	177,847
特別利益合計	55,945	201,028
特別損失		
減損損失	—	81,049
50周年記念事業費	49,197	—
特別損失合計	49,197	81,049
税金等調整前四半期純利益	1,557,160	1,693,371
法人税、住民税及び事業税	386,017	448,541
法人税等調整額	82,865	97,355
法人税等合計	468,882	545,897
四半期純利益	1,088,277	1,147,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,088,277	1,147,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,088,277	1,147,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,746	37,088
その他の包括利益合計	△28,746	37,088
四半期包括利益	1,059,531	1,184,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,059,531	1,184,562
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,557,160	1,693,371
減価償却費	672,537	748,896
減損損失	—	81,049
のれん償却額	16,989	16,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	690	△18,887
賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,882	△103,909
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,167	△22,887
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	500	△7,948
ポイント引当金の増減額(△は減少)	700	△14,801
受取利息及び受取配当金	△25,432	△24,536
支払利息	42,635	36,335
固定資産除売却損益(△は益)	△25,640	△23,181
投資有価証券売却損益(△は益)	△30,305	—
売上債権の増減額(△は増加)	△17,538	△75,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△164,445	△62,100
収用補償金	—	△177,847
支払債務の増減額(△は減少)	91,488	350,732
未払消費税等の増減額(△は減少)	96,083	50,485
その他	△9,799	△168,564
小計	2,113,574	2,277,284
利息及び配当金の受取額	13,447	13,971
利息の支払額	△39,430	△32,429
収用補償金の受取額	—	115,873
法人税等の支払額	△417,326	△406,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,670,265	1,967,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,465,364	△1,091,117
有形固定資産の売却による収入	90,000	47,210
無形固定資産の取得による支出	△2,682	△93,705
投資有価証券の売却による収入	96,715	—
敷金及び保証金の差入による支出	△308,647	△270,180
敷金及び保証金の回収による収入	46,436	447,852
その他	21,379	△53,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,522,163	△1,013,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,045,442	△1,049,293
自己株式の取得による支出	△82	△622
自己株式の処分による収入	150,025	—
配当金の支払額	△192,677	△184,823
リース債務の返済による支出	△83,365	△117,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	128,457	△452,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	276,560	502,079
現金及び現金同等物の期首残高	3,648,152	3,907,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,924,713	4,409,085

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。